



楠 明廣 議員

AKIHIRO KUSUNOKI



問 栗栖川の河川改修事業はどのような計画で進む予定なのか。

答 国土交通省によると、概ね5年間で栗栖川統合井堰から芝田橋の区間で、まちづくりと連携した治水対策を進めていくと聞いている。また、平野橋までの残区間についても概ね10年間で河川整備を計画しているとのことである。

問 国道179号平野橋部分はS字カーブで通行しにくいいため、架け替えをし、通行しやすくできないか。

答 県によると、平野橋は「ひょうご道路防災推進10箇年計画」に基づき、耐震対策を実施する予定で、現時点で架け替えは考えていないとのことであるが、県と協議しつつ、緩やかなカーブになるよう要望していきたい。

問 辺地対策事業を活用した事業について

答 交通弱者の移動手段を確保するには、総合整備計画を定め、住民の交通の便に供するための自動車を購入する場合に辺地対策事業債の対象となる。

問 新宮中学校のテニスコート修復について

答 本年9月から令和4年3月中旬までの期間で、東側法面をコンクリートブロックにより侵食を防止し、老朽化したフェンスを入れ替える工事を実施する。

問 桜の木オーナー制度について

答 オーナーとなった方や市民が桜の保全・育成を共に行い、また周辺の美化活動や交流を通してにぎわいが創出できるものと考えており、導入に向け検討していきたい。

その他の質問事項

- 高齢者の免許返納のメリットについて
- 企業誘致について
- 山城を中心とした八朝のひな祭りのような物語を持ったPR及び観光客の安全対策について
- 災害時にどのような状況になれば避難指示が発令されるのかについて

Q&A “1月の猛烈寒波の水道供給課題と対策”と“北学校給食センターへの取組みについて”



高岸 博之 議員

HIROYUKI TAKAGISHI



問 本年1月寒波に対する課題と対策について

答 1月の猛烈寒波で香島地区は市水道他区域から水道水が届かない地域のため、香島地区の配水池の貯水量が急減し、断水の一手手前であった。早急な送水管の接続と新たな水源池確保が急務である。その対応を聞く。

答 送水エリアの変更と、本年度策定するアセットマネージメントにおいて水源地等を含めた施設再編の計画策定で検討対応する。

問 揖龍南北幹線道路、宮内地区から吉島区間の取組み状況について

答 宮内地区から延長先である吉島区間(県道穴栗新宮線まで)の今後の対応を尋ねる。

答 本年度より大鳥踏切から市道新宮小学校線に至る480m〔宮内バイパス第一工区〕が着

手し、令和7年度完成予定と公表されている。吉島区間までの事業着手時期としては、「宮内バイパス第一工区」完了後に県及び市が協力し事業を進めると協議完了している。

問 北学校給食センターについて

答 北学校給食センターは中央学校給食センターに比べて、事業費が安く抑えられているが、どのような工夫によるものか。

答 建設発注手法や新宮町宮内地区の市有地の活用で、建設事業費の抑制につながった。

問 地元農産物の消費拡大について

答 市内で生産された食材を学校給食に使用することは、地域農業振興と地域産業の活性化に大きく寄与すると考えるが市の取組み方策を聞く。

答 学校給食に地元農産物を積極的に取入れることにより、地域で栽培されている農産物の理解が子ども達に深まるよう、教育委員会と連携し推進する。

その他の質問事項

- 市水道事業大規模漏水点検調査結果について
- 龍野橋水管橋工事について